

常任委員会等の活動報告

総務常任委員会

- ◆ 9月24日（木）
 - * 協議「委員席の指定について」「今後の活動方針について」
- ◆ 10月27日（火）
 - * 協議「化製場の悪臭問題について」

【所管事項】

総合政策部・地域振興部・財務部・市民生活部・総合支所・会計課・消防本部・消防署・監査委員及び選挙管理委員会の所管に関する事項並びに他の常任委員会の所管に属さない事項

産業建設常任委員会

- ◆ 9月25日（金）
 - * 協議「委員席の指定について」「今後の活動方針について」
- ◆ 10月27日（木）
 - * 協議「今後の活動計画について」

【所管事項】

農林部・商工観光部・建設部及び農業委員会の所管に関する事項

文教福祉常任委員会

- ◆ 9月24日（木）
 - * 協議「委員席の指定について」「今後の活動方針について」
- ◆ 10月22日（木）
 - * 協議「障がいのある人もない人も共に生きるまちづくり条例について」

【所管事項】

福祉部・健康子ども部・生涯学習部及び教育委員会の所管に関する事項

議会改革推進会議

- ◆ 10月1日（木）
 - * 協議「花巻市議会基本条例に係る研修会について」
- ◆ 10月29日（木）
 - * 協議「今後の検討事項について」

市民の意思を市政に的確に反映させるため、議会改革に継続的に取り組むための協議の場です。

決算特別委員会

2546万円

専門家相談会開設事業

- Q 債務整理や生活再建のための貸付は、令和7年度末で52件、6128万8千円となっている。貸付枠6800万円に対し、利用状況はどうなっているか。
- A 貸付残高6128万8千円のうち、新規貸付は12件、2400万円。年度末時点では貸付枠6800万円に近い利用状況だった。償還された分は再び貸付枠として利用できる仕組みとなっている。

19億4605万円

国民健康保険事業費納付金

- Q 県に納める国民健康保険事業費納付金は、前年度から4327万5千円増え、19億4605万5千円となった。増加した主な要因は何か。
- A 花巻市は県内でも1人当たりの医療費が低く、これまではその分、県への納付金が低く抑えられていた。県が市町村ごとの医療費の差を納付金に反映させない方向へ制度を統一しているため、医療費が比較的低い花巻市では納付金が増加した。

討論

【反対】櫻井 肇 委員 議案第82号、83号

(議案82) 市民の税負担が増えるため反対する。国保加入者は65歳以上が全体の53%を占め、高齢者、低所得者が多いというのが本保険制度の特徴である。令和7年度からの国保税負担は、前年対比4900円の増であり、現在の試算では令和11年度まで続くことされており、5年間で2万4500円の負担増である。異常な物価高の中での増税は、加入者の暮らしを圧迫する。

(議案83) 医療保険制度を75歳という年齢で区分けする制度自体を是認できないため反対する。同時に、新たに子ども・子育て支援金の負担は、年金受給者に更なる負担を強いることとなり、子育てを終えている被保険者にこの負担金を課することは理不尽という他ない。

賛否が分かれた議案の審議結果

議案 82	令和7年度花巻市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について
議案 83	令和7年度花巻市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について

会派名		明和会							緑の風					はなまき市民クラブ			会派に所属しない				審議結果						
議員名	新山敏彦	畠山勝幸	阿部美智子	及川恒雄	伊藤忠宏	藤根清	高橋修	小原保信	横田忍	葛巻徹	三上昌也	北條秀麿	小森田郁也	似内一弘	小原雅道	鹿討康弘	羽山るみ子	内館桂	本館恵一	小笠原悠太		佐々木精市	高橋綱記	菅原ゆかり	櫻井肇	照井省三	
議案 82	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	認定	
議案 83	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	認定

○は賛成、●は反対。議長は表決に加わりません。